

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大牟田市立玉川小学校] 担当教諭名 [廣松 隆広・宮島 翔平] (6年1組 12名)

相手国・地域 [アメリカ]

海外学校名 [St. Pius X School] 担当教諭名 [Jeanine Ritter]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	海外の友達とつながろう(調査・自己紹介編)	4
	図工	海外の友達とつながろう(制作編)	2
	学活	海外の友達とつながろう(計画編)	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	We are Friends!
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	距離が離れていても、わかり合える、つながることができる。 そして、笑顔になることができる。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が他国の文化に興味を持つことができたこと。 外国の先生、子ども達と意思をつなげることができたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で授業時間を最小限にして、昼休みなどの時間を活用して行ったため、子ども達と教師の負担が大きかった。 金銭面の負担がとても大きく、毎年続けることは難しい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
成果にも書いたが、海外の国々の文化に興味を持つようになった。また、自分から進んでコミュニケーションを取ろうとするようになった。	他国の文化に触れさせたり、他国とつながるためにはどうすればよいか考えさせたりすることが大切だと、これまであまり意識していない部分を考えるきっかけになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	アートマイルとは何か、交流する学校の紹介。 自分たちの住んでいる地域や日本についての紹介、相手国に聞きたいことの確認。	アメリカの学校と交流していくことにわくわくしていた。	総合2
共有 テーマ学習	7月	アートマイルの取組を通して、どんな力をつけていきたいか、どんな交流をしていきたいか考えさせた。	他国との「つながり」を意識した学習にしていきたい。	総合2
融合 メッセージ作成	9月	メッセージPPTの作成。	英語でメッセージを伝えるのは難しいが、自分たちの思いをしっかり伝えたい。	学活1
創造 壁画制作	11月	実行委員を立ち上げ、デザインを考えさせた。下書き、なぞり、色つけとみんなで作業を分担して行っていた。	大きな絵なので完成させるのが大変だったが、完成させたときの達成感が大きかった。相手国に喜んでもらい、つながりを深めたい。	図工2 休み時間
評価 振り返り 自己評価	3月	相手校と完成させた絵をもとに、学習してきたことの振り返り。	相手国と絵やメッセージを通して「つながり」を深めることができた。	学活1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	自分たちの住んでいる地域や国のよさを再確認することができ、相手国の知らない部分について理解を深めることができたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	自分たちで考えたメッセージや壁画のデザインを、相手国や他者からのフィードバックを得て進めることができなかつたため。
主体的に考え行動する力	4	メッセージや壁画のデザインを自分たちで話し合い進める学習を通して、主体的に考えることができたから。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	自国の紹介や相手国への質問を考え、動画やメッセージを通して相手国とつながることができたから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	どんなデザインにすれば自分たちの思いがつながるか、そして相手国とつながることができるかを考えてメッセージや壁画を作成することが大変子どもたちの学びと有用感につながつたため。